

江東区協働事業提案制度 令和6・7年度実施事業報告書

江東区で実施している協働事業提案制度で令和5年度に2年事業として採択され、令和6・7年度に区と協働で実施した「みどりの子育て支援事業」について、実施団体から受けた事業報告および江東区区民協働推進会議委員からの意見を報告します。

【目次】

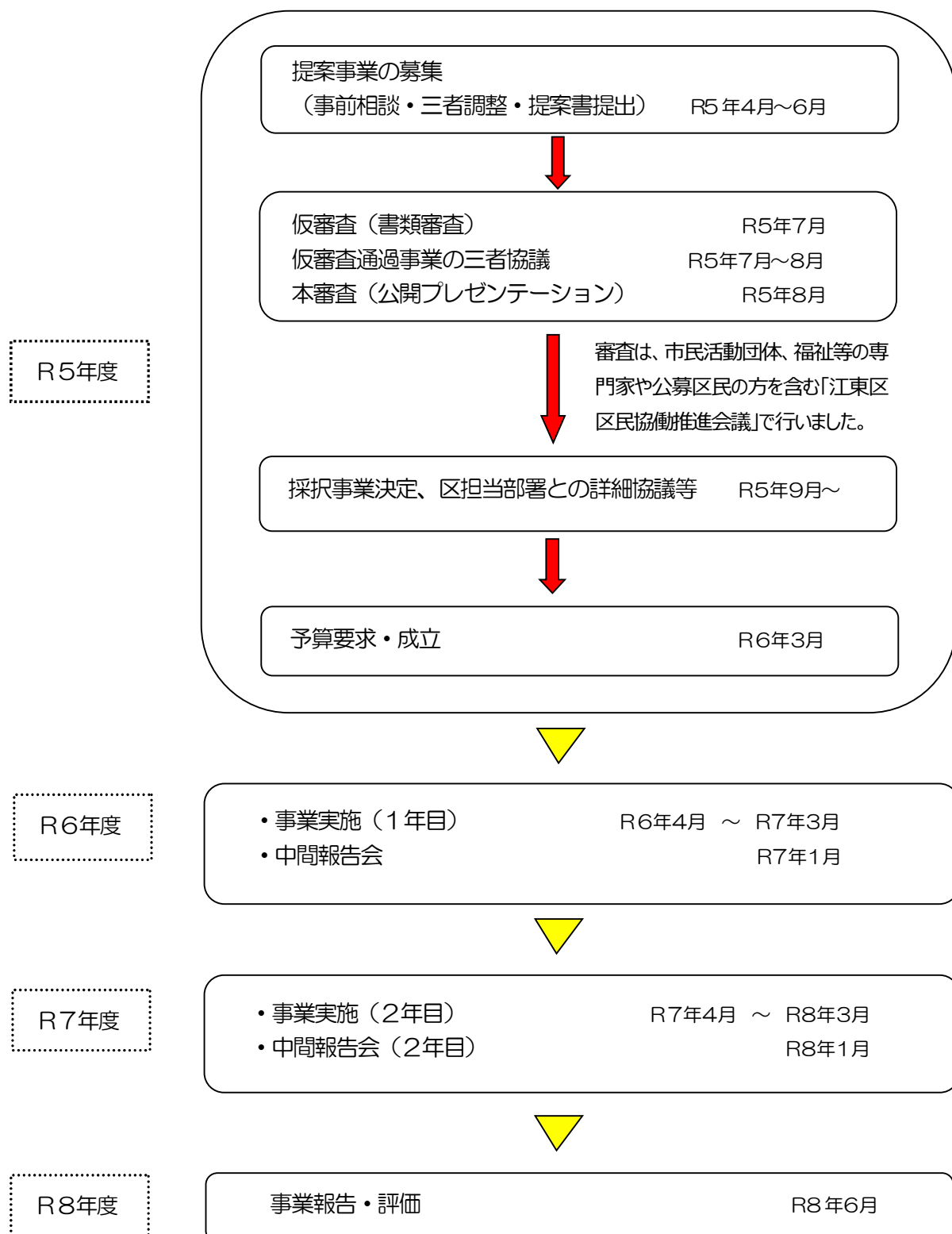
1 江東区協働事業提案制度概要	 1
2 江東区区民協働推進会議委員名簿	 2
3 協働事業結果報告書	 3
4 江東区区民協働推進会議委員意見書	 16

江東区地域振興部区民協働推進担当

1 江東区協働事業提案制度 概要

地域で活動する市民活動団体等の皆さんから、区と共に取り組むことで「こんな課題を解決できる」「よりよいまちをつくることができる」といったアイデアを、協働事業として募集します。

この制度によって選考され採択された事業は、提案団体と区が協議を重ね、協働により事業を実施します。本事業は2年実施事業として令和5年度に採択されました。



2 令和8年度 江東区区民協働推進会議委員名簿

◎…会長 ○…副会長

学識経験者	◎枝見 太朗	社会福祉法人 東京都共同募金会 常任理事事務局長
	大島 隆代	文教大学 人間科学部准教授
中間支援組織	○新田 英理子	一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク 事務局長
区民	竹本 まゆみ	公募委員
	宮内 崇敏	公募委員
市民活動団体	東方 陽子	みどりネット Koto 副会長
産業団体	黒田 康司	東京中小企業家同友会 江東支部
公益活動団体	干泥 香	社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 江東区ボランティア・地域貢献活動センター所長
	佐藤 久美子	公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 管理課長
区職員	池田 良計	地域振興部長

令和7年3月31日

江 東 区 長 宛

団 体 名 特定非営利活動法人マザーツリー自然学校

団 体 所 在 地 東京都江東区高橋 14-21

代表者職・氏名 理事長 中安 敬子

協働事業結果報告書

令和5年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	みどりの子育て支援事業 ～公園の自然を活用した乳幼児の外遊び推進
事業の実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
実施事業の概要 ※詳細については 「具体的事業内容」に記入し、 ここでは要約して 欄内に収まる ように記入してください。	こどもが公園で自然に触れ合いながら、遊具や道具に頼ることなく遊べる場の提供、遊び方の支援、および親同士が交流し、学び合う場の提供をする。 1. キックオフイベント『おやこで自然とあそぼう！』の開催 第1部：親子で森のおさんぽ&自然遊び 第2部：（保護者）意見交換 （こども）木を使った遊びのコーナー、絵本のコーナー 2. 『外遊び型みどりの子育てひろば』の開催 10月：10回/月 11月：10回/月 区内3か所の公園を活用し、乳幼児の親子が自然の中で遊んだり交流したりできる場を提供。

具体的事業内容 ※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。	1. キックオフイベント『おやこで自然とあそぼう!』の開催 開催日時：9月28日（土）10時～11時40分 場所：都立猿江恩賜公園、ティアラこうとう大会議室 対象・定員：未就学児親子100名（事前予約制） 参加費：無料 応募人数：144名 参加人数：72名 従事者：自然遊び講師4名、意見交換会ファシリテーター1名、マザーツリー自然学校スタッフ6名、ボランティア1名 *自然遊びを親子に体験してもらい、外遊び・自然遊びの普及と、秋から始まる「みどりの子育てひろば」の宣伝をおこなった。 *体験を通しての気づきの共有と、「みどりの子育てひろば」でやってみたいことのリサーチをした。 2. 『外遊び型みどりの子育てひろば』の開催 開催時期：10月～11月の2か月間（月10回） 開催時間：9時30分～13時30分 開催場所：月曜日 豊洲公園（月4回） 水曜日 南砂三丁目公園（月4回） 土曜日 旧中川水辺公園（月2回） 利用：予約不要、利用無料 従事者：1ひろばにつきスタッフ3人体制 参加者：10月 321人 11月 420人 合計 741人 *公園内に目印となるテントを張り、そこを中心に子育てひろばを展開した。 *親子は公園の自然やいきものに触れたり、団体が準備した自然物（木の実や剪定枝など）で遊んだりしながら、スタッフや他の利用者と交流していた。 *「みどりの子育てひろば」のInstagramをつくり、毎回活動の発信をした。
事業の成果 ※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。	1. だれもが外遊びや自然遊びを体験できる機会と場を創出 お金を払わなくても、予約をしなくても、だれもが利用でき、自然を享受できる子育てひろばが運営できた。 2. 安心して遊べる場を提供 スタッフの見守りや安全管理のできている場は、親子にとって安心できる居場所となった。 3. 外遊びや自然遊びをサポート 親によっては外遊びはハードルの高いものだが、専門のスタッフの声掛けやサポートで遊び方の支援ができた。 4. こどもの遊びを介して、親同士の交流 みんなで遊ぶことで、人の輪・遊びの輪がひろがり、親同士の交流につながった。 5. 公園の利用が活性化 みどりの子育てひろばがあることで、来園者が増え、公園利用が活性化した。

協働の効果 ※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。	1. 広報力、発信力の強化 江東区報や江東区のホームページ（イベントカレンダー）への掲載や江東区広報板へのポスター掲示により、多くの区民に周知できた。また保育園や幼稚園、子ども家庭支援センター、図書館などにチラシを配布することができた。またポスターやチラシに団体の運営するインスタグラムのQRコードを掲載できたため、みどりの子育てひろばの様子をタイムリーに発信でき、区民の参加につながった。 2. 信頼性 ポスターやチラシに「江東区」のロゴを入れさせていただいたことで、事業の信頼性がアップし、区民が安心して参加することができた。 3. スムーズな公園利用 公共の場にテントやシートを張って、事業を展開することができた。テントはひろばの目印となり、また日陰の確保にたいへん有用であった。公園によっては指定管理者がおり、事業に対してとても協力的であった。
2年目実施に向けた展望 ※1年目の実施を通じて気づいたこと（改善すべき点や計画の変更の有無等）を記入してください。	1. ひろばの開催曜日の変更 1年目の開催曜日は月曜・水曜・土曜であった。当初は、保育園児・幼稚園児親子の土曜ひろば利用を見込んでいたが、実際の利用は少なく、土曜より平日のひろば利用が活性化していたため、2年目は開催曜日を月曜・水曜・木曜の平日開催とした。 2. 開催公園の変更 旧中川水辺公園は、2年目に深川公園に変更。アクセスのよい公園を選定し、区民の利用を促す。人が集まりやすい豊洲公園、樹木が多く自然遊びが展開しやすい南砂三丁目公園は2年目も継続して利用。事業の継続により、さらなる利用拡大につなげていく。 3. 利用者アンケートの項目追加 ひろば2期目となり、親子の外遊び・自然とのふれあいの機会が増えているかどうかの項目をアンケートに追加する。
自由意見 ※その他実施を通じて気づいたこと（新たな地域課題、参加者の声等）を記入してください。	1. 公園の管理の特徴によりひろばでの遊びが異なる 樹木が多く、木の実やいきものなど、こどもたちの興味が向かう自然物が豊富な公園がある一方で、管理が細部にまで行き届いているため、落ち葉や雑草がまったくない公園がある。自然に触れさせたくてもそれが叶わず、団体で用意した木の実や剪定枝で遊んでもらっている。それでも利用者からは「初めて木の実をみました！」と喜ばれているが、このような環境下でこどもたちにどのように自然とのかかわりをもたせるかは私たちの課題であると感じる。 2. 雨天時の開催 雨の日は利用者が非常に少なくなる。団体側は雨の日の楽しみ方を伝えるスキルは持っているが、利用者側にはそれがまだ浸透していない。雨の日をどう過ごすかを含め、今後の動向を見守っていく。 3. みどりの子育てひろばの持つポテンシャルの高さ 10月から2ヶ月の開催であったが、11月にはリピーターが3割を超え、利用者は開催日を楽しみに待っていた。公園で自然に触れ合って遊ぶ・体を動かして遊ぶ・交流すること以外にも、例えば「自然工作」や「ピクニック会」「お父さんお母さんによる木のおもちゃ製作」「みどりの保全会」などのプログラムを組み込んでいくと、さらに充実したみどりの子育てひろばが展開でき、コミュニティの輪もひろがりそうだ。現状の提案事業でのスタッフ数ではなかなか実施が難しいが、将来的に事業委託となれば人員体制を整えて、ぜひ取り組んでみたい。

令和8年3月31日

江 東 区 長 宛

団 体 名 特定非営利活動法人マザーツリー自然学校

団 体 所 在 地 東京都江東区高橋 14-21

代表者職・氏名 理事長 中安 敬子

協働事業結果報告書

令和5年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	みどりの子育て支援事業 ～公園の自然を活用した乳幼児の外遊び推進
事業の実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
実施事業の概要	こどもが公園で自然に触れ合いながら、遊具や道具に頼ることなく遊べる場の提供、遊び方の支援、および親同士が交流し、学び合う場の提供をする。 ※詳細については「具体的事業内容」に記入し、ここでは要約して欄内に収まるように記入してください。 1. 『外遊び型みどりの子育てひろば』の開催 4月：10回/月 5月：10回/月 区内3か所の公園を活用し、乳幼児の親子が自然の中で遊んだり交流したりできる場を提供。

具体的事業内容 ※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。	1. 『外遊び型みどりの子育てひろば』の開催 開催時期：4月～5月の2か月間（月10回、合計20回） 開催時間：9時30分～13時30分 開催場所：月曜日 深川公園（月3回） 水曜日 豊洲公園（月4回） 木曜日 南砂三丁目公園（月3回） 利用：予約不要、利用無料 従事者：1ひろばにつきスタッフ3人体制 参加者：4月 339人 5月 339人 合計 678人 *公園内に目印となるテントを張り、そこを中心に子育てひろばを展開した。 *親子は公園の自然やいきものに触れたり、団体が準備した自然物（木の実や剪定枝など）で遊んだりしながら、スタッフや他の利用者と交流していた。 *「みどりの子育てひろば」のインスタグラムをつくり、毎回活動の発信をした。
事業の成果 ※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。	1. だれもが外遊びや自然遊びを体験できる機会と場を創出 お金を払わなくても、予約をしなくても、だれもが利用でき、自然を享受できる子育てひろばが運営できた。 2. 安心して遊べる場を提供 スタッフの見守りや安全管理のできている場は、親子にとって安心できる居場所となった。 3. 外遊びや自然遊びをサポート 親によっては外遊びはハードルの高いものだが、専門のスタッフの声掛けやサポートで遊び方の支援ができた。 4. こどもの遊びを介した、親同士の交流 みんなで遊ぶことで、人の輪・遊びの輪がひろがり、親同士の交流につながった。 5. 公園の利用が活性化 みどりの子育てひろばがあることで、来園者が増え、公園利用が活性化した。 上記のことからこの事業は「自然の恵みやいきものの豊かさを感じられる、こどもを安心して遊ばせることができる、公園づくり」（江東区みどりの基本計画）への道筋となった。

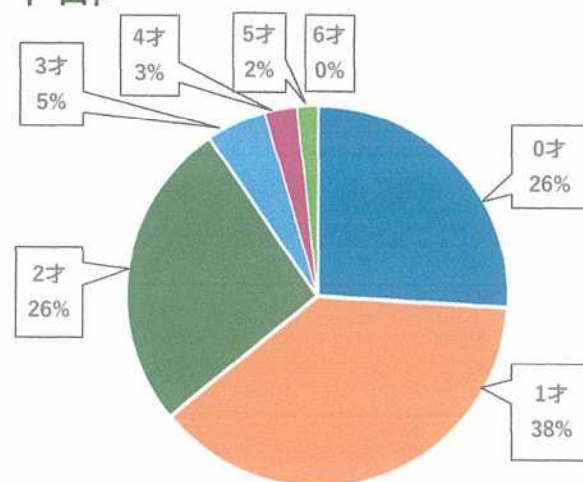
協働の効果 ※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。	1, 公共性と専門性を活かしあえた 区の事業としての「安心感」「信頼性」と、マザーツリー自然学校の「自然体験」「乳幼児理解」「保護者支援」の専門性を活かしあうことで、より効果的で質の高い事業を実現できた。 2, 自然環境（公園）を活かした子育てモデルの創出ができた 自然とのふれあいを軸とした、育ちの支援が実現。「自然×子育て」の実践モデルを行政事業として可視化できた 3, 行政職員、関係機関への波及効果があった 現場を通して、「乳幼児期の自然体験の重要性」「保護者への波及」「公園活用の可能性」の理解につながった。 データだけでは見えにくい「こどもの姿」「保護者の変化」を共有できた。
今後の活動展開 ※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していきますか。	令和7年度に改訂された「江東区みどりの基本計画（後期）」に“みどりの子育てひろば”の取り組みが掲載され、令和8年度には土木部施設保全課庶務係より「みどりの子育て支援事業委託」を受け、展開していく。 1. みどりの子育てひろばの運営（豊洲公園/南砂三丁目公園） ・4月～6月（全10回）木曜日 2公園で隔週開催 ・10月～12月（全10回）木曜日 2公園で隔週開催 2. みどりの子育て支援事業イベント（都立公園等で開催予定） 秋以降 3公園 今後は、協働事業で得られた知見と体制を活かし、区内公園の特性や気候条件を踏まえた継続的な実施体制を構築する。 また試行的取り組みを段階的に定着させるとともに、子育て支援と公園活用を連動させることで、乳幼児が身近な公園で自然と関わる機会を安定的に確保していく。 あわせて、他公園や他団体とのコラボ展開も視野に入れ、公園活用モデルとして発展させていく。
自由意見 ※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。	【新たな課題】 1, 「自然の中での主体的な遊び」を守りつつ、安全管理やルールとどう折り合いをつけるか。 2, 乳幼児の育ちに寄与する自然体験のために、草や落ち葉を「こどもたちの育ちに活用する教材」と捉え、公園管理との調整を検討できないか。 3, 公園ごとの自然環境の特性を踏まえ、工夫により活動内容の最適化を目指す。 4, 気候や天候の影響から、活動の安全性を確保する工夫とガイドラインの作成。 【利用者アンケート結果】 別紙参照

※ 事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください。なお、ご提出いただいたものは返却できません。





こどもの年齢

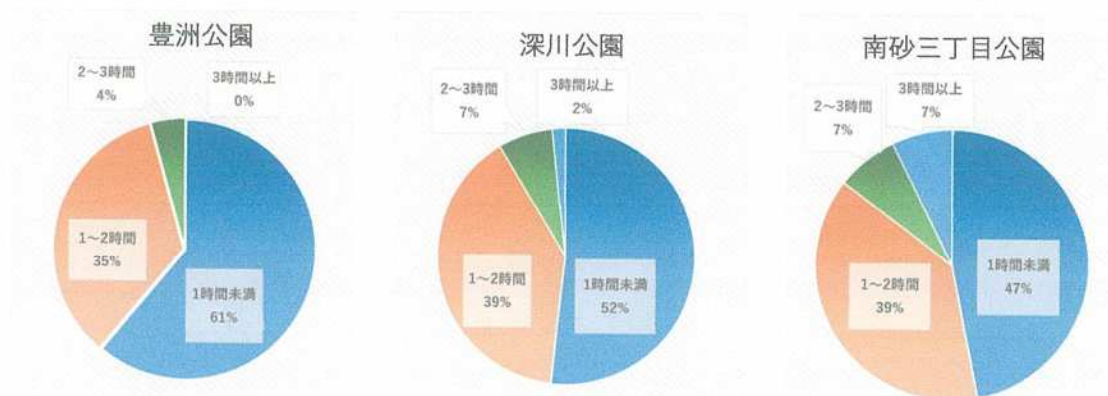


0才,1才,2才の利用で、9割を占める

利用者アンケート

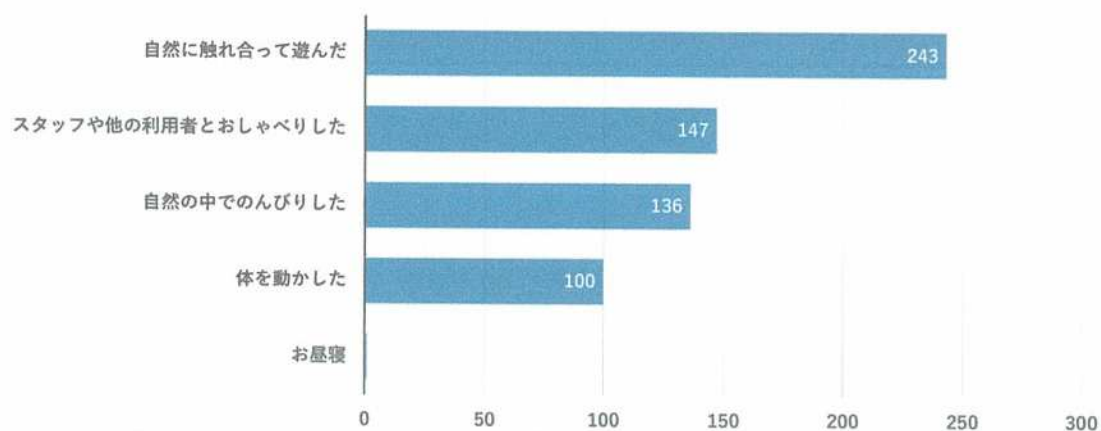
(回答数 272)

1, 「ひろばの滞在時間はどのくらいでしたか？」

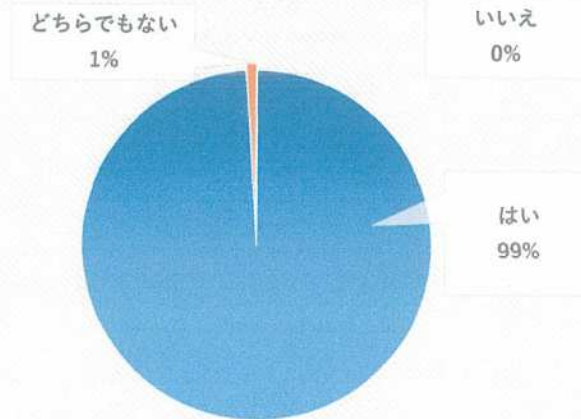


公園ごとに特徴があり、自然度の高い公園ほど、滞在時間が長くなる傾向がみられる

2, 今日はどのようなことをして過ごしましたか？



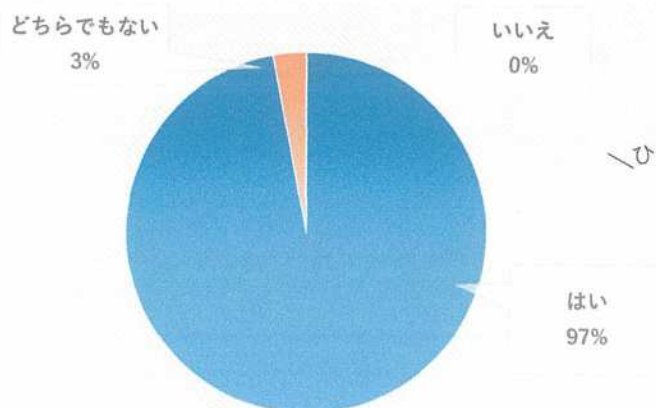
3, 「みどりの子育てひろば」はこどもの遊び場として安心して遊べる場所ですか？



スタッフさんが見守ってくれている/
こどもの安全に配慮してくれている/



4, 「みどりの子育てひろば」は、公園に行くきっかけになりますか？



ひろばがやっていると外に出ようと思う/
こどもをのびのび遊ばせられる/
他のママ友と会える/



5, 「みどりの子育てひろば」は、また来たいと思う場ですか？

どちらでもない
3%

いいえ
0%

はい
97%

／ 楽しい！／
／ 遊べる！／
／ 触れ合える！／



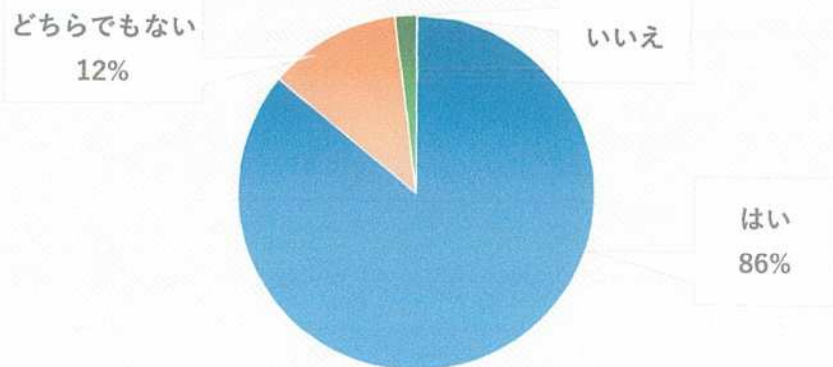
6, 2024年秋の「みどりの子育てひろば」を利用したことがありますか？

いいえ
76%

はい
24%

秋の利用者は4月に保育園・幼稚園へ。
春には新規の親子が入ってきて、利用者の裾野が広がっていることが伺える。

7, 「はい」と回答された方、外遊びや自然とのふれあいの機会が増えましたか？



「どちらでもない」の回答は、普段から外遊びをしている人。
秋にひろばでの体験をした親子のほとんどが、外遊びや自然遊びを継続している。

利用者の声 (抜粋)

- 自然に触れることができて、よかった。
- 広々として、赤ちゃん連れでも安心して楽しめた。
- こどもがのびのびと遊んでいて、うれしかった。
- 江東区の木やどんぐりを遊び道具にしていたのがよかった。
- こどもに虫を見せてあげられてよかった。自分は苦手で、それができないから。
- 普段は自宅で過ごしているので、公園でものすごくリラックスできた。
- スタッフの方がいて、お話しできて、何だかとてもほっとしました。
- 実はこどもよりも、親の私がとても楽しみで通っていました。
- 息子に持病があり、私も妊娠中で、感染リスクの低い屋外型はとてもありがたい。
- 家から徒歩圏にあってほしい。ベビーカーでバスに乗るのはたいへんでした。
- こどもが自然にふれあえるととてもいい場なので、今後も継続してほしい。

[illegible]

江東区協働事業提案制度 実施事業
江東区区民協働推進会議委員意見書

事業名	みどりの子育て支援事業 ～公園の自然を活用した乳幼児の外遊び推進		
団体名	特定非営利活動法人マザーツリー自然学校		
担当課名	施設保全課	関係課	河川公園課、養育支援課

採択／実施	令和5年度採択／令和6・7年度実施【2年事業】		
1年目事業費 (予算額)	1,268,073円 (1,344,717円)	行政	1,131,277円
		団体	136,796円
2年目事業費 (予算額)	635,524円 (764,387円)	行政	425,617円
		団体	209,907円

◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見 ◆

・乳幼児の外遊びを通じて、子育て世帯の孤立・孤独の防止や親子同士の交流促進、公園利用の活性化を図る事業であり、地域課題を的確に捉えた意義の高い取組として評価した。

・提案団体の有する自然体験活動の専門性と、区が有する公園等の公共資源が効果的に結び付いた事業であり、協働だからこそ実現できた好事例である。提案団体と担当課が丁寧に協議を重ねながら事業を育ててきたことが、成果や事業化につながったものと評価した。

・協働事業として実施された取組が区の事業として継続されることは、本制度の趣旨を体現する成果であり、江東区協働事業提案制度の成功事例として高く評価できる。

・公園という既存の公共空間に、自然体験や親子交流といった活動を加えることで、公園の新たな価値や活用方法を創出した点は大きな成果であり、今後の公園運営や地域づくりへの展開も期待したい。

・活動を通じて、「親自身が自然の中での遊び方を知らない」という新たな気づきが得られたことは意義深く、今後の子育て支援施策や公園活用のあり方を検討する上でも有益な成果であった。

・本事業は単なる外遊びの機会提供にとどまらず、地域コミュニティへの入口としての役割も果たしており、地域とのつながりを求める子育て世帯への支援として大きな意義を有している。

・平日昼間の開催を中心としていることから、参加が難しい家庭への配慮や、土日開催を含めた参加機会の拡充、さらなる周知・広報の工夫についても今後検討されたい。

・本事業は都市部における先進的な取組として他自治体の参考にもなり得ることから、積極的な情報発信を行うとともに、今後は区内の他地域・他公園への展開や、多様な主体の参画による持続可能な事業運営を期待したい。

◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見 ◆

本事業は、公園という身近な公共空間を活用し、乳幼児の外遊びを通じて子育て世帯の孤立・孤独の防止や地域とのつながりづくりを図る取組として、大きな成果を挙げたものと評価する。提案団体が有する自然体験活動や子育て支援に関する専門性と、区が有する公園等の公共資源や行政機能が結び付くことで、協働の効果が十分に発揮された。また、公園の新たな活用価値を示すとともに、保護者同士の交流や地域コミュニティ形成のきっかけを創出した点も意義深い。

本事業が協働事業提案制度による取組から区の事業として継続されることとなったことは、本制度の目的を体現する成果であり、行政と市民活動団体が互いの強みを活かして地域課題の解決に取り組んだ好事例である。今後は、参加機会の拡充やさらなる周知を図るとともに、本事業で得られた知見を活かしながら、区内の他地域への展開や多世代交流など新たな地域づくりへ発展していくことを期待したい。さらに、行政のみならず地域や民間事業者等も含めた幅広い主体が関わりながら、持続可能な取組として成長していくことを望む。